



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

平成 29 年 5 月 16 日(火)

第 1236 回例会 第 1154 号

Weekly Report

クラブスローガン
 地元と海外の地域社会における
 独自のプロジェクトの実施を

2016-17 RI テーマ
 人類に奉仕するロータリー

会 長 秋 保 賢 一
 幹 事 大 橋 哲 也
 発 行 公共イメージ委員会
 例 会 火曜日 12 時 30 分
 会 場 岐阜都ホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電 話 058-264-9235

会 長 挨拶

会長 秋保賢一



5 月 16 日にまたまた会員増強セミナーがあるので参加する予定です。

会員数の減少傾向は、どちらかというところロータリークラブ内部に原因があるのではなく、やはり社会経済的要因の方がはるかに大きいのではないのでしょうか。

2740 地区の 2016 年の会員増強セミナーの講演レジメ (RI 第 3 ゾーン・ロータリーコーディネーター補佐大之木精二氏) を見ると、格差社会の進行が会員数減少につながっているという趣旨の記述があつて、興味深いので紹介させていただきます。

資本主義経済が爛熟した先進国社会では、富裕層、中間層、貧困層という階層が生まれるけれども、実はロータリークラブの基盤は富裕層ではなくて中間層であつて、この中間層が縮

小してきたのが会員減少の要因であるということです。これが正しいとすると格差社会の進展と会員減少との間に因果関係があることとなります。

これは講演録には載っていませんが、ロータリアンというのは中小企業の社長さんが多いと思います。そこで、中小企業数とロータリー会員の数を比較してみました。すると 2009 年から 2012 年までの 3 年間で中小企業 35 万社が減少しており、この間にロータリアン数は約 9 万 2,000 名から約 8 万 7,000 名まで 5,000 人も減少しています。そして中小企業数の減少傾向が止まってきた 2014 年頃からロータリー会員の減少傾向にも歯止めが掛かってきて、最近では、ごくわずかですが増加しています。中小企業の数とロータリアンの数はシンクロしているようにみえます。

こういうのをみていると会員数の減少については、ロータリークラブ自身の責任というよりも社会経済的要因の方がはるかに大きいような気がします。今、お話ししたとおり中小企業数が下げ止まってきているので、わずかながら光が見えているのではないのでしょうか。

私見では、こういう社会情勢の中では、量よりも質を志向すべきだと思います。

ますし、一時的に無理して増やしても意味がないので、少数精鋭主義でクラブ運営を図っていくべきではないかと考えています。

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

秋保賢一君

前回の例会は欠席して申し訳ありませんでした。

卓 話

『東海 3 県の金融経済動向』

卓話者 加納永一朗会員

※卓話はホームページの卓話集へ掲載予定です。

岐阜中ロータリークラブ HP

<http://www.gifunaka.com/>



卓話者 加納永一朗会員

前 例 会 の 記 録

第 1 2 3 5 回

平成 2 9 年 5 月 9 日(火)

[点鐘] 1 2 時 3 0 分

[ソング] 君が代 奉仕の理想

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数 30 名 (出席免除 2 名)

本日出席 16 名 60.00%

[行事] 卓話

『東海 3 県の金融経済動向』

加納永一朗会員

担当 直前会長

次 回 予 定

第 1 2 3 7 回

平成 2 9 年 5 月 2 3 日(火)

[点鐘] 1 2 時 3 0 分

[行事] 卓話

担当 会計監査